

単元名 グラフや表の活用（東京書籍）

本時1 / 1時間

本時のねらい

育成を目指すプログラミング的思考

資料から読み取った情報について、事実と意見を整理し、読み手に効果的に伝わるレポートを書くことができる。
(思・判・表)

分解



目的に応じて、適切に物事を要素に分ける。
Stage3

本時のねらいとプログラミング的思考との関連性

本時の学習では、プログラミング的思考の中の分解の思考を取り入れ、読み手に伝わるレポートを書くために、自分の意見と、意見を支えるための客観的な事実を分ける活動に取り組む。事実と意見を分けて、情報を整理することによって、本時のねらいを効果的に達成できる。

学習ツール

Viscuit

Scratch

スライド

スプレッドシート

無

プログラミング的思考に関する活動の流れ
(導入を想定)

●教師の発問・指示

◇指導上の留意点

※学習ツールを使用する際の留意点

導入

1 本時のめあてをつかむ。

資料から読み取った情報について、意見と事実を分けて、読み手に効果的に伝わるレポートを作成しよう。

●「資料から読み取った情報について、意見と事実を分けて、読み手に伝わるレポートを作成します。」

2 本時の課題を確認する。

インターネットで、興味のあることについて情報を収集し、読み手に伝わるレポートを作成しよう。

●「興味のあるテーマを1つ決めて、読み手に伝わるレポートを作成します。テーマは自由です。」

●「テーマに関するグラフや表、資料などのデータを収集して、自分の意見を支える根拠として使用します。」

3 事実と意見を区別する。

①Japan is a small country. 「意見」

②The population of Japan is about 123 million. 「事実」

◇ [授業スライド p. 2~p.12]

●「例文を読んで、どの文が事実で、どの文が意見か、ペアで話し合ってみましょう。」

展開

① I think that many people live in Japan. So, I believe that Japan is a big country.

② In 2021, Japan's population was about 125 million, and Germany had a population of about 83 million. Japan has a larger population than Germany.

◇ [授業スライド p. 13~p.17]

●「より説得力がある文はどれか、ペアで考えてみましょう。」

◇事実を伴う意見の方が、より説得力があることを、生徒同士のやり取りを通して引き出す。

終末

[事実を表す文]

- ・ This graph shows that....
- ・ You can see that ... from the graph below.
- ・ According to ...,



graph 「グラフ」

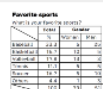


figure 「図」



chart 「図表」

◇ [授業スライド p. 11~p.12]

●「レポートでは、事実と意見を区別するために、『資料に基づいた情報(事実)であることを示す表現』と、『自分自身の感想や意見であることを示す表現』を使い分けます。」